

令和2年度文京区障害者自立支援協議会
第2回就労支援専門部会 書面開催 報告資料

1 障害者就労に関するハンドブック作成について

- ・ 第1回就労支援専門部会ワーキングの報告
- ・ 文京区障害者就労支援ハンドブック（仮）について

2 委員からの意見聴取シートのまとめ

(1) 第1回就労支援専門部会ワーキングの報告についての意見

- ・ 皆さん精力的に参加されており成果に期待しています。
- ・ ハンドブックの活用に関しては、特別支援学校やB型など支援者と一緒に見て活用できるような、わかりやすいツールであって欲しい。
- ・ 今後どのくらいの頻度で発行をされるか予定を知りたい。
- ・ 心のふれあいをすすめる会にて「心の健康ガイド」の発行に携わっておりますが、就労支援ハンドブックと役割を分けて、必要な方に必要な情報を届けていくことができるガイドができれば良いと思う。
- ・ 支援学校の進路指導に活用できるもので、教師・生徒・保護者で情報が共有できるものが良い。
- ・ 将来企業就労をしたいが卒業時はB型からスタートするという選択をする生徒が増えてきている。保護者はB型からどのようにして企業へ結びつくのかを不安に思っているので事例などで示せるとよいと思う。

(2) 文京区障害者就労支援ハンドブック（仮）についての意見

① 目次（案）について

- ・ 小石川福祉作業所（就労移行支援⇒生活介護）とソーシャル就労支援センター湯島（廃止）は、就労移行支援事業を実施しなくなったため、就労移行支援事業所（8箇所）に修正をお願いいたします。
- ・ 障害者雇用や採用に悩む企業が頼れる先が分かるような情報が織り込めれば良いと考えます。当事者の働きやすさにもつながる情報になると考えます。
- ・ 就労や休職時の復職へ向けた準備を整える場の1つである精神科デイケアを社会資源の紹介ページに含められないか。

② 相談先フローチャート(案)について

- ・「制度やサービスについて」の相談先については精神障害者の方が手帳、自立支援医療、障害福祉サービス等の手続きを行う部署は「文京区予防対策課」ですので、追加をお願いいたします。
- ・「相談たどりつきチャート」について、「働くことに自信が持てず、働くためにどうしたらいいのかわからない」場合の相談先が記載されていませんので、記載をお願いいたします。
- ・フローチャート形式でわかりやすい。
- ・デイケアも記載いただくと嬉しいです。
- ・上から3つ目、8つ目の枠：保険センター→保健センター
- ・上から4つ目の枠：障害者就業・生活支援センターを加えてもよいと思う。
- ・就労を考えるにあたり生活面の課題は付き物であるというのが実態であると考えています。就労にまつわる相談先の一部として生活に関する相談が出来る機関が載っていることは有用だと思います。
- ・フローチャートの相談先に医療機関がある事に鑑み、見開きの左ページにも医療機関が載せられていればと思います。診察やカウンセリングにおける治療や、心理・発達検査、他機関利用の際の意見書・手帳や年金のための診断書発行、就労へ向けた医学的な意見を相談できる場といった、他機関とは異なる意義で相談が出来る機関だと考えています。
- ・生活面は相談先を知ってもらう機会となるため掲載を希望したい。
- ・保健サービスセンターの紹介文の修正(案)を以下に示します。
「専門医による相談(予約制)と保健師による相談を行っています。社会復帰に向けた支援や障害福祉サービス利用に関する事等、主治医や関係機関と連携を取りながらご支援します。区内には2か所の保健サービスセンターがあります。ご住所を管轄するセンターにご連絡ください」
- ・フローチャートと行きつく先の説明がセットになってわかりやすい
- ・相談先の基本概要を左頁に記載する構成となっていますが、文京区障害者就労支援センターやナカポツ、当センター等、類似した支援を行っている機関もあり、基本概要ではイメージし難いところもあるように感じました。どこまでを文京区の障害者就労支援ハンドブックにて掲載するかにもよりますが、今回の案の関係機関を掲載するのであれば、基本概要について、機関のHPのアドレスを掲載し「概要は以下URLにて参照下さい」等にしても良いと思う。社会資源の紹介ページに掲載する施設については「社会資源紹介ページ〇〇ページ参照」等の記載を加えても良いと思う。

③ 社会資源の紹介ページ(案)について

- ・特別支援学校では、生活介護、自立訓練、グループホーム、短期入所等の情報、文京区社会資源が一覧になってみられるものが欲しいです。横軸に事業所、縦軸に障害種別、働く場、日中活動の場、住まいの場、相談窓口の欄があり、対応箇所に印をつけるような一覧。新宿区社会資源マップのようなイメージです。一覧の次に、マップがあって、次に事業所の紹介のページ
- ・就労継続支援 A 型、B 型→就労継続支援事業所 A 型、B 型
- ・デイケアも記載いただけると嬉しいです
- ・各機関の概要については、役割や当事者がどんな風に利用出来るかについて、文章よりも箇条書き等で簡潔に分かりやすく記載されていると良いと思う。
- ・色使いによって、中身の情報に集中しづらい方がいるかと思われるため、配慮があると良いと思います。

④ 社会資源 MAP(案)について

- ・「①障害福祉課」「①本富士生活あんしん拠点」「①ふる里学舎小石川」「④地域プラザふらっと」「⑤ふる里学舎大塚」「⑥指定特定相談支援事業ふくろう」「⑦ふる里学舎本郷」「④区立大塚福祉作業所」「②ワークプレイスぶんぶん」「⑨銀杏企画三丁目」がマップ上では表示されていないので、表示をお願いいたします。
- ・相談支援事業所について、「文京地域生活支援センターあかり」「相談支援事業所やえ」を追加し、事業廃止している「タオ」を削除してください。
- ・就労移行支援事業所について、「①区立小石川福祉作業所」「ソーシャル就労支援センター湯島」は、すでに事業廃止していますので、削除してください。
- ・前項にデイケアも含めていただけるとお願いしたい。
- ・各施設の対象となる障害種別は載せるのか。社会資源紹介ページに対象は載ると思うが MAP 上にもあるとわかりやすい
- ・左上の文章の修正：保健所 → 保健サービスセンター
(保健所という名称は他のページで使用していないため)

⑤ 事例内容(案)について

- ・卒業後、B型から企業就労した生徒がいます。2~3年かけて企業が決まったが、学校側はその経緯が分からなかった。進路情報として支援機関の連携等もあったと思うのでそういう事例がほしい。
- ・流れの矢印が就労を終着点としていますが、その後のサポートも考えている支援機関が多いと思います。就労の先もイメージできるような構成にデザインされていると良いのではないかと思います。

- ・企業での取り組みは多様なものがあると思われるため、分量が多くなっても良いかと思います。企業の方にも障害者雇用のイメージが付きやすいものになって欲しいです。
- ・実際に相談を受け解決した多様な事例内容について、現実即した①相談内容②支援手順③結果どのように解決されていったか④その後の定着支援についても具体的にわかりやすく提示していくようにして欲しい。

⑥ その他の意見について

- ・たいへん素晴らしいハンドブックになりそうです。強いて言えばフローチャートとマップがもう少し柔らかい感じになるといいかと思います。（特に知的障がいのある人たちを念頭にしての意見です。）
- ・区内にハローワーク・職業訓練校等の資源もあるかと思いますが、そうした機関の情報が載せるのも有りかと思います。
- ・文京区版独自の物として様々な情報が載りつつ、更に詳しくは小冊子やホームページなどで行えると良いと思う。

今回のご意見を参考に令和3年度自立支援協議会 就労支援専門部会にてハンドブックの完成に向けて引き続き協議を行う事とする。